

福 祉

1 学習指導の改善・充実

(1) 学習指導の改善・充実の視点

福祉科においては、少子高齢化の進展に伴い、地域における自立生活支援への志向や福祉ニーズの多様化など社会福祉に対する国民意識の変化に対応し、多様で質の高い福祉サービスを提供できる人材を育成する観点から、介護福祉士の資格などにも配慮して、科目の再構成など改善を図っている。また、社会福祉に関する知識と技術を社会福祉施設での実習や見学など実践活動の学習を通して総合的、体験的に習得させ、専門的知識・技術の上に福祉社会の一員として生活上の問題に関心をもち、人間としての尊厳の保持や自立生活を支援することのできる人材の育成を目指している。

このような人材を育成するためには、「心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援する」という社会福祉の理念と意義を理解させるための指導を充実することが大切である。

(2) 効果的な学習指導

社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てることが、教科「福祉」の目標とされ、次の学習指導が求められる。

ア 基礎的・基本的な内容を重視し、習得に当たっては、社会福祉に関する学習を日常的な実践活動などの実際の・体験的な学習をとおして、総合的に身に付けさせること。

イ 知識・技術の習得はもとより、社会福祉関連の職業に従事する者としての福祉観・倫理観が要求される。そのため、専門的な知識・技術を習得した上で、社会福祉の理念と意義を理解させること。

ウ 福祉社会を生きる一人として、日常生活の中での社会福祉の現状や社会保障の関連を学び、人間としての尊厳の保持やプライバシーの尊重などの自立生活を支援する態度を育成すること。さらに、社会福祉関連の職業従事者としては、社会福祉サービス利用者としての立場で安全かつ確実なサービスの提供ができるような創造性と実践的な態度を育成すること。

2 評価方法の改善・充実

(1) 学習評価の基本的な考え方

福祉科では、知識と技術の習得にとどまらず、社会福祉関連の職業に従事する者として求められる福祉観や倫理観を高めるための生活上の問題点を取り上げた具体的事例を通じた考察や討論、介護場面を想定した演習や実習など様々な学習を行う必要がある。定期考査等を中心とした知識重視の評価に平常点を加味した評価では、生徒の学習状況を充分把握することは困難である。そのため、社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、社会構造の変容などが社会福祉の進展にどのように影響し、どのような変化をもた

らしているのかを考えさせる学習などを評価するための評価規準を作成し、それに基づく評価を行い、生徒の学習状況を分析的に把握する必要がある。

(2) 学習評価における配慮事項

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知 識・理 解
評 価 の 趣 旨	社会福祉に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	社会福祉に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。
配 慮 事 項	「社会福祉に対する関心」、「社会福祉の諸課題の改善・向上に意欲的に取り組む姿勢」、「社会福祉の増進に寄与する実践的な態度」などについて、各科目の特質、内容等に応じて具体的目標を設定し、評価する。	「個々の福祉・介護場面の課題の把握」、「習得した知識・技術を基にした思考、判断」、「問題解決のための相違・工夫」、「説明・論述・討論などの言語活動」について、具体的目標を設定し、評価する。	「基礎的・基本的な技術の習得」、「介護過程の合理的な作成と実際」、「実習記録の適切な作成」などについて、総合的に評価する。	「社会福祉に関する知識の習得」、「社会福祉の意義や役割の理解」などについて、具体的目標を設定し、評価する。

3 学習評価の具体例

(1) 科目「社会福祉基礎」における具体例

科 目 名	社会福祉基礎 (4単位)			
単 元 名	高齢者福祉と介護保険制度			
単元の目標	高齢者を支える社会福祉サービスについて、介護保険制度と関連付けて扱い、関係する法規や高齢者の将来推計、高齢化の速度、人口構成、平均寿命や健康寿命などを取り上げ、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの概要と現状について理解させるとともに、その課題について考えさせる。また、高齢者の虐待などの問題にも触れる。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知 識・理 解
内容のまとめごとの評価規準	高齢者福祉と介護保険制度について関心をもち、関係する法規や高齢者の将来推計、高齢化の速度、人口構成、平均寿命や健康寿命、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、高齢者虐待などの問題について追究しようとしている。	関係する法規や高齢者の将来推計、高齢化の速度、人口構成、平均寿命や健康寿命、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、高齢者虐待などの問題について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に適切に判断し、その過程や結果を適切に表現して	高齢者福祉と介護保険制度に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	関係する法規や高齢者の将来推計、高齢化の速度、人口構成、平均寿命や健康寿命、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、高齢者福祉と介護保険制度について基礎的な知識を身に付け、社会的背景及び施策の概要と現状、課題と関連付けて理解している。

		いる。		
具体的評価 規準	高齢者福祉の現状と課題について関心を持ち、長寿社会を支える高齢者福祉の創造する態度を身に付けている。	高齢者の将来推計、高齢化の速度、人口構成、平均寿命や健康寿命などのデータを読み取り、的確に判断し、多角的に考察している。 高齢者福祉の様々な課題について新聞記事やニュース等の具体的な問題を通して現実的な対策について表現している。	高齢者福祉の現状と課題について様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	高齢者関係法、高齢者の将来推計や高齢化の速度、人口構成、平均寿命などについて基礎的な知識を身に付けている。 関係各制度が生まれてきた社会的背景、理念、代表的な社会福祉施策の概要と現状について理解している。

(2) 指導と評価の計画

学習活動	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第1次 人口の高齢化と高齢者福祉 (4時間)		①ワークシート (1時間目) 「データを読み取ろう」	①KJ法 (2～3時間目) 「高齢社会の課題」	①講義 (4時間目) 「高齢化の特徴と課題」
第2次 介護保険制度と諸サービス (11時間)	①聞き取り調査事前指導(5時間目) 「福祉センターへ行くにあたって」	②グループワーク(8～9時間目) 「聞き取り調査のまとめ」 ③聞き取り調査発表会 (10時間目)	②グループワーク(6～7時間目) 「我が町の高齢者福祉サービス聞き取り調査」	②講義(11～15時間目) 「介護保険制度」 「在宅サービスと施設サービス」 「その他のサービス」
第3次 高齢者福祉の将来 (2時間)		④ワークシート (16時間目) ※「新聞記事から読み取る高齢者問題」		③講義(17時間目) 「現在の高齢者問題と高齢者福祉の将来」

※ ④ワークシートの具体例

社会福祉基礎 新聞記事から読み取ろう～高齢者問題～	
1 右の新聞記事を読み、内容をまとめてみよう。	新聞記事(参考例) ・遠距離介護 ・老老介護 ・認認介護 ・高齢者虐待 ・介護殺人 ・介護者不足 ・施設不足 等
2 そのようなことが起こる背景は何かを考えてみよう。	
3 どうすれば改善できるとあなたは考えますか。	

(3) ワークシートの評価具体例

具体の評価規準	「十分満足できると判断される」状況 (A)	「努力を要すると判断される」状況 (C) 及び (C) と評価される生徒への指導の手だて
新聞記事を通して高齢者問題についての確に判断し、現実的な対策について考察している。	内容を理解した上で、これまで身に付けた基礎的・基本的な知識・技術を活用して、自分の言葉として考察までの過程や結果をまとめることができている。	内容の理解がなされず、基礎的・基本的知識・技術と結びつけられておらずレポート作成及びグループワークへの参加貢献度が不十分である。 関連する内容に関する視聴覚教材を活用等し、現実の出来事であることを認識させるとともに、イメージを膨らませ自分自身の言葉でまとめさせる。



～福祉科に関わるキャリア教育の推進～ 〔介護福祉士の資格取得方法の見直しの延期について〕

介護福祉士による医療的ケア導入等にともない、介護福祉士の資格取得方法の見直しについて、施行が3年間延期された。

(平成23年度の社会福祉士及び介護福祉士法改正により、24⇒27年度)。

介護福祉士を目指す生徒に対する進路指導等において、留意が必要となる。

養成施設ルート…国家試験受験を義務付けられた。

実務経験ルート…3年以上の実務経験に加えて、実務者研修(6ヶ月研修)を義務付けられた。

社会福祉士及び介護福祉士法改正の概要(平成19年)

○平成19年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正により、すべての者は一定の教育プロセスを経た後に国家試験を受験するという形で、資格取得方法の一元化が図られた。

